

2023.07.02 登別山岳会活動記録

雨竜・暑寒別山行二日目

飯は旨いし！ 花は満開！
キュウちゃんとの出会い！！



一日目 (2023.07.01) 雨竜沼湿原



一日目ダイジェスト

ビビリが一人！



揺れるつり橋

一日目ダイジェスト

雨竜沼湿原



ニッコウキスゲ
満開

一日目ダイジェスト

雨竜沼湿原



雲の中に続く
木道を歩く

一日目ダイジェスト

白竜ノ滝

マイナスイオンの
てんこ盛り！



二日目 暑寒別岳（標高1,429m）

石狩平野の北側に位置し、
日本海に面して連なる増毛
山地の最高峰。
暑寒別天売焼尻国定公園内

山名はアイヌ語で「滝の上
にある川」を意味する
「ソー・カ・アツ・ペツ」
から由来



増毛町HPから

箸別ルート山行

メンバー（7名）

宇田CL、太田SL、渡邊、小山内、安藤、小川、上杉

一日目の雨竜沼湿原ゲートパーキングで石井さんと別れて箸別避難小屋へ車で移動、途中のコンビニで氷やビール等を買いつし。

箸別避難小屋に到着、先客2名（札幌の男性と京都からの男性の登山者）

札幌の方は小屋のメゾネット2階に、京都の方は駐車場で車中泊、我々7名は小屋の1階に宿泊

夕食



小山内飯炊き名人による炊飯は、今回も成功！
米2キロを2回で炊き上げる。

夕食の豚丼、サラダ、枝豆。それに明日の配給おにぎり（鮭と梅）を作る。



買い物かごのテーブルを囲み、太田さん肉料理の差し入れや漬物等が加わり豪華夕食！お酒も程よく回り楽しい宴でした。

※おにぎりは小川が愛情を込め力一杯握りました。

夕食後、片付けを終え各自寝袋の中へ、20時消灯！
しかし、おじさん達は話に花が咲きしばし団らん、そこで宇田リーダーがビシットと「もう寝てください！！」の一言に対し、即座に「はい！」の返事により就寝（二人が同時に怒られ慣れている様な、素直でいい返事でした。流石です！）

翌朝に2階の札幌の方から聞いた話ですが、夜明頃に100匹位のコウモリが入ってきて飛び回り屋根や軒の隙間入り騒いでいたそうです。1階に寝ていた我々は大きな蛾が飛んでいるものと思っていました。びっくりです！

朝食は、うどんを作り美味しく頂き、残り物が無いように昨夜に引き続き全て完食でお腹パンパン状態で暑寒別岳に挑みました。

暑寒別岳山頂を目指して



虫対策のネットをかぶり、虫よけスプレーをこれでもかと体に吹き付け、蚊取り線香に火を付け準備万端！お腹はパンパン！



鳥居のような巨木の下を通って！なんとなく神聖な場所のような・・・

満開の花畑



登山初心者の私は、こんなに満開の花畑を観るのが初めてで、感動しっぱなしでした。
来て良かったー！



マシケゲンゲ（固有種）



日本海をバックに
こちら花盛り、
男盛り？



昨日歩いた
雨竜沼湿原



まだ残雪もところ
どころあり、コン
トラストが綺麗



10時30分登頂！
二日続けての山行
でも全員元気！

キューちゃんとの出会い



可愛い姿を撮ろうと、
全員カメラ小僧に！

そして、私たちはこの
シマリスを九合目で出
会ったから「キュー
ちゃん」と名付けまし
た。



九合目で昼食を取ろうと思ったら
シマリス登場で食事処ではなくなった！
枯葉をくわえて近寄ったりして。
逃げないでしばらく、私たちの様子を見て
いるようだった。



14時00分 無事下山



余力たっぷりの女性陣！ 私はヘロヘロです。
登別組は、この後温泉で汗を流してから登別へ
私は、オロロンラインで帰宅。疲れたけど、たのしかったー！

記 小川（登山3年目の初心者）